新見市工事書類簡素化ガイドライン（建築編）

令和7年4月

総務部契約検査課

まえがき

工事現場においては、高品質な構造物の建設だけでなく、その品質を維持・向上させるために、さまざまな工事書類が不可欠です。しかし、工事書類の量や種類が多く、作成や管理にかかる手間が現場の負担となることも少なくありません。このため、工事書類の簡素化を図る取り組みが求められています。

新見市では、こうした課題に対応するために、「工事書類簡素化ガイドライン（案）」を先に作成し、提出が不要な書類や簡素化可能な手続きを明確にしました。このガイドラインは、工事現場の技術者や監督員が共通理解を持ち、効率的に業務を進めるための指針となることを目指しています。

この度、さらなる効率化を進めるために、特に建築・設備・電気分野に特化した「新見市工事書類簡素化ガイドライン（建築編）」を作成しました。本ガイドラインでは、建築・設備・電気工事における書類の提出一覧を整理し、簡素化できる部分を具体的に示しています。これにより、現場での業務がさらにスムーズに進行できるとともに、工事書類の作成にかかる時間や労力を削減することが期待されます。

このガイドラインが、現場の技術者や監督員にとって有益な参考となり、建築・設備・電気構造物の品質向上や業務効率化、そして工事書類の簡素化に役立つことを心より願っております。

本ガイドラインを運用するにあたっての注意事項等 適用範囲

・対象となるかどうかは、特記仕様書を確認してください。なお、用語の説明は岡山県土木工事書類作成マニュアルを参照とします。

※国庫補助金による施工の場合など、監督員から要請があった場合は、このガイドラインに限らず書類提出を行ってください。

●以下の項目による書類の提出は、完成図書を除いて**全て電子メールでの提出を可とする。**

(ただし、送付できる容量には限界があるため、容量の大きい場合には、大容量ファイルの転送サービスを受注者で用意する必要があります。

また、印刷は受注者で行ってください。)

建設リサイクル法関係 (対象工事の場合のみ)

・提出時の工事打合簿は不要とする。(契約前のため)

分別解体等の計画書等書類において、記入例でも記入の仕方が不明な工事の場合は、記入せず監督員と相談して書き込むこととする。

何度も修正することのないように、監督員と受注者で調整すること。

・**変更は監督員と協議すること。**

※完了は提出が必要です。

リサイクルステッカーを必ず現場に掲示してください。

No, 1 総合施工計画書

・当初請負金額1000万円未満の工事については、**監督員の指示により提出を省略可とする。**

・変更施工計画書について、現場作業終了後の清算に伴う変更契約、及び工期や数量だけの**軽微な変更契約の場合、提出は不要とする。**

※施工計画書は、建設業法により作成が義務づけられています。

※総合施工計画書とは、施工要領部書分を除いた施工計画書です。施工要領書は後日随時提出することとします。

No, 2 施工要領書

・当初請負金額1000万円未満の工事については、**監督員の指示により提出を省略可とする。**

監督員省略指示の目安として、概ね工事金額の2割以内の工種において、省略を可とする。特殊工事においては必要な場合もあるため、監督員若しくは設計・監理者に確認すること。

No, 3 施工図

- ・施工図は監督員の指示による。施工確認・協議により施工図を省略可とする。

No, 4 使用材料・製品等承諾願

- ・現在は、材料の追加があった場合、既に承諾を得た材料も記入し、その後ろに記入することとしているが、既に承諾を得た材料を記入する必要はなしとする。ただし、承諾材料に通し番号を記載し、番号を正しく記入すること。
- ・承諾願により使用承諾を受ける材料は、A材（主要材料）及びB材（付属材料のうちJ I S等の認定がないもの）とする。不明な場合は、設計者・監理者に確認すること。
- ・工事打合簿を作成する必要はない。（様式変更のため）

No, 5 下請負関係書類

- ・下請承認申請書の提出は監督員の指示による。
- ※下請負契約を締結した場合は、施工体制台帳の作成・提出が義務づけられています。
- 施工体系図は現場に掲示して、写真を工事現場写真に納めること。

No, 6 工事打合簿（工事打合簿一覧表）

- ・従来どおり、メールでの提出を可とする。

No, 7 検査・段階確認書

- ・検査・段階確認依頼は連絡（連絡とは、監督員と受注者又は現場代理人の間で、監督員が受注者に対し、又は受注者が監督員に対し、契約書第19条に該当しない事項又は緊急で伝達すべき事項について、口頭、ファクシミリ、電子メールなどの署名又は押印が不要な手段により互いに知らせることをいう。なお、後日書面による連絡内容の伝達は不要とする。よって、連絡については、工事打合せ簿を作成する必要はない）で可とする。
 - ・臨場での検査段階確認の場合、監督員が実測値等を記入した資料があれば、監督員臨場の写真が1枚で可。
- なお、重要な工事で、工事後不可視となるため記録を残す必要があるなど、

監督員が判断した場合は、監督員の指示に従うこと。

- ・工事打合簿を作成する必要ない。（様式変更のため）

※遠隔臨場は「遠隔臨場に関する試行要領 新見市建設部」参照。

No, 8 全体工程表

- ・全ての工事において提出すること。

なお、工種の変更を伴う変更時には、変更工種を記載したものを提出すること。

No, 9 工事報告書（月報）

- ・従来どおり、監督員の指示がなければ提出は不要とする。

No, 10 月間工程表

- ・従来どおり、監督員の指示がなければ提出は不要とする。

No, 11 予定・実施週間工程表

- ・従来どおり、監督員の指示がなければ提出は不要とする。

No, 12 材料検査・確認書

- ・材料検査・確認依頼は**連絡**で可とする。

・臨場での材料確認の場合、監督員が実測値等を記入した資料があれば、監督員臨場の写真が1枚で可。

- ・工事打合簿を作成する必要ない。（様式変更のため）

※下記の注意点は従来どおり気を付けてください。（工事写真へ入れること）

塗装材料、モルタル、接着材等の材料は、製造年月日をロットナンバーで確認すると共に、使用期限内に使用することを確認すること。使用量確認のため空缶・空袋検査を行うが本工事で使用したことを証明するため、材料検査時には工事番号等を材料に記して撮影すること。鉄筋は、製品規格がわかるようにロールマークも撮影すること。

No, 13 材料集計表（設計対比）

- ・設計値の変更は、見え消しでも可とする。

No, 14 納品伝票等

- ・現状では1枚1枚を台紙に貼り付けていたが、材料ごとにまとめてホッチキス止めなどし、**袋に入れての提出で可**とする。
- ・舗装の温度記入欄などの記入は、工事写真で確認できる場合は、記入しなくてよい。

集計表は必ず作成すること。

No, 15 残土処理伝票

- ・納品伝票と同様にホッチキス止めなどし、**袋に入れての提出で可**とする。
- 集計表は必ず作成すること。

No, 16 マニフェスト（写） E 票 （A 票）

- ・従来どおり、E 票が判読できない場合は、A 票も提出すること。
- 集計表は必ず作成すること。

No, 17 交通整理員等日報

- ・納品伝票と同様ホッチキス止めなどし、**袋に入れての提出で可**とする。
- 集計表は必ず作成すること。

No, 18 工事現場写真

- ・黒板の記載内容（実測寸法、工種等）が写真上で確認できれば、**写真帳の添え書きに黒板に記載している内容を記載する必要はない。**
 - ・段階確認及び材料確認を臨場にて確認する際に、併せて管理写真を撮影することができる。（出来形管理写真及び使用材料写真について、臨場と併せて管理写真を撮影することにより、同じ箇所を2回検測する手間を削減。臨場時に撮影した管理写真は、段階確認書及び材料確認書には添付不要。）
- ※不可視部分（例：鉄筋かぶり、アンカー埋め込み長、乳剤の側面散布、コン

クリート打継部の処理、バイブレータ挿入、スペーサーの数、セメント安定処理材の使用量、埋戻・盛土の全層転圧状況など）はこれまでどおり、注意して写真撮影をしてください。

No, 19 建設副産物実態調査（コブリス）

- ・提出時の工事打合簿は不要とする。
- ・マニフェストの数値が記載されているかを監督員が確認することとする。
- ・**原則紙提出は不要**とする。
※対象工事の場合、再生資源利用計画書・再生資源利用促進計画書を作成し、監督員に提出が必要です。（土木一般仕様書P3参照）
※監督員は、コブリスの確認方法を設計者に確認してください。

No, 20 建設業退職金共済組合証紙購入状況報告書

- ・従来どおり、請負金額 1000 万円以上の工事において提出が必要です。
※下請負がある場合、下請負業者への証紙購入状況を提示願います。

No, 21 工事カルテ作成・登録（コリンズ）

- ・提出時の工事打合簿は不要とする。
- ・**原則紙提出は不要**とする。
- ※発注者監督員は検査依頼に記入して検査員に報告する。

No, 22 完成届

- ・従来どおり、提出してください。

No, 23 工事完成写真

- ・主たる工種のみ写真とすることを可とする。
- ※内容については、監督員と協議してください。

No, 24 品質関係

- ・試験結果報告書（メーカーの出荷証明等を含む）、竣工自主検査報告書、検査

結果報告書を提出すること。

No, 25 出来形関係

- ・仕上表、竣工図を提出すること。

No, 26 引渡関係

・機器完成図、各種取扱い説明書、保証書、鍵明細書、備品および予備品明細書、引渡し後連絡先一覧、諸官庁申請届出一覧、下請業者一覧のうち該当する書類を提出すること。

No, 24～No, 26 において、従来提出を求めていた書類を8様式削減した。様式集を確認のこと。

工事検査写真

- ・検査写真は、書類検査と現地計測のわかる写真を最低1枚提出すればよいこととする。

安全関係書類

- ・これまで同様、検査時に提示すること。提出は不要とする。
- ※安全教育及び安全訓練等半日／月以上、KYミーティング、新規入場者教育、安全パトロールを確認しています。

以上 提出を求めていた29項目中、すでに改善されていたものを含めると25項目において、簡素化を図りました。

このガイドラインにより、業務の効率化が図られ、働き方改革や生産性向上を実現できることを期待します。

※なお、本ガイドラインの施行は、令和7年4月1日からです。